

カレンシーオーバーレイ

主催:金融財務研究所 日時:平成12年11月16日(木)午後2時 午後5時

参加費:33,800円

連絡先: TEL:03-3297-6371 E-mail kenkyu@bm.infoweb.ne.jp

講師 森谷博之 オックスフォードファイナンシャルエデュケーション 代表取締役社長,カレンシーオーバーレイコンサルタント

上智大学理工学部化学科卒、外資系金融機関、アフリカ開発銀行にて国際金融、リスク関連業務に従事した後、オックスフォードファイナンシャルエデュケーション設立、住商キャピタルマネージメント上級顧問カレンシーオーバーレイ担当、英国ストラッスクライド大学 MBA、英国エディンバラビジネススクール MBA、英国ロンドン大学金融経済学修士、訳書「シュワッガーのテクニカル分析」、「外国為替のオプション」(共訳)

外貨建て資産の割合の多い投資家にとって、為替レートの変動がポートフォリオ全体に与える影響は大きい。欧米では高い専門性を必要とする為替リスクの管理はカレンシーオーバーレイ・マネージャーと呼ばれる外部の専門家に任せることが一般的である。最近、日本でもグローバルポートフォリオを管理するためにカレンシーオーバーレイ・マネージャーを用いることが注目され始めている。

為替市場が効率的であるとする、超過収益をこの市場から得ることは難しい。この仮定のもとでパッシブと呼ばれるヘッジ方法が主流であったが、最近、為替市場の非効率性を主張する論文が数多く発表されるとアクティブと呼ばれる運用手法を用いるマネージャーが注目を集めている。これらのマネージャーの投資スタイルは多種多様で、実際の運用がヘッジであるのかスペキュレーションであるのか、その判断は非常に難しい。

本セミナーでは、カレンシーオーバーレイの役割を明確化し、効率の良いヘッジ収益をどのように生み出すべきかを、最先端の金融理論・分析手法を用いながら考察してみたい。特にオプション戦略の役割と効果そして限界について考察する。また、カレンシーオーバーレイ・マネージャー選択の方法と評価の方法も考察する。

1. カレンシーオーバーレイの現状
2. 各資産クラスにおける米国投資(ヒストリカルシミュレーション)の実際
3. 為替リスクの分類と分離原則
4. 為替リスク管理の手段と侵入性
5. 為替市場の特質:市場の効率性
6. 為替市場の特質:収益率
7. 為替ヘッジ戦略の分類
8. カレンシーオーバーレイに用いられるベンチマークと問題点
9. カレンシーオーバーレイ戦略選択のパラメーター
10. カレンシーオーバーレイの経済学
11. 効率的カレンシーオーバーレイの要素
12. システムトレーディングとエキゾティック・オプション
13. 各カレンシーオーバーレイ戦略のシミュレーションと考察

カレンシーオーバーレイの評価方法